

「島原市がまだす高校生議会」を開催

島原市議会では、選挙権年齢の18歳以上への引き下げに伴い、去る3月18日、市議会議場で「がまだす高校生議会」を開催しました。

議長の小林正人さん（島原工業高校）の進行により本会議が進められ、それぞれの高校の特色を生かした高校生らしい視点での意見や質問がなされ、市の取り組み状況や考えなどの答弁を引き出していました。

各高校からの代表質問の後、副議長の松本清花さん（島原農業高校）が提出者となり、将来の島原への思いをまとめた意見表明書が上程され、高校生議員全員の賛成で可決し、古川市長へ手渡しました。



市内の各高校から選出された20人の高校生議員と、代表質問の一部をご紹介します。
※並びは質問の発言順、学年は開催時のものです。

○島原高校 「島原市の創生総合戦略における教育の充実について」

岩本 由佳（2年） 本田 野乃風（1年） 廣瀬 右京（2年） 三宅 史穂（1年）

Q：ふるさと納税の使途にある「学力向上のための事業」とは。

A：市独自の学力調査や、学習問題配信サービスの活用、先進地の講師による教職員を対象とした講演会などに活用していく予定である。

Q：新たな奨学金制度の創設とは、どのような内容でいつから始まるのですか。

A：卒業後、島原市に居住して就職した場合には返済金額を減免できるような奨学金制度を検討している。

○島原特別支援学校高等部 「島原特別支援学校高等部生徒の将来の進路について」

安達 正広（2年）

Q：知的障がいのある方の就労の場を増やしてほしい。

A：企業側の理解や受け入れ態勢の整備、島原市自立支援協議会での取り組みなど地域全体でサポートし、自立した生活が送れるようまちづくりに努めたい。



○島原商業高校 「島原の再生について」

湯川 奏（2年） 金澤 麻衣（2年） 笹田 梨乃（2年） 松崎 菜々子（1年）

Q：島鉄を利用する高校生に通学補助をすれば遠方からの生徒がふえるのでは。

A：現在、市の補助はないが、1カ月の定期代から1万6千円を引いた残りの4分の1を支援する県の補助金（全日制、12km以上）がある。

Q：災害記念館で「島商ッ」をオープンできますか。

A：過去に島原商業高校が手掛けた商品を販売した事例もあるので検討したい。

○島原高校定時制 「市内のごみの分別・出し方・回収等の現状、ごみ出し場所への金属製ごみ入れかご設置のお願いについて」

堀口 堇（1年）

Q：集積場所の家庭ごみがカラスや猫などに荒らされていることがある。島原は美しい街だと胸を張って言えるような対策や改善を考えていますか。

A：町内会等へクリーンボックスやネットの貸し出しをしている。ごみの散乱被害がある集積場所は、現状を確認して対応していく。

○島原中央高校 「島原市の活性化について」

甲斐 仁武（1年） 末永 紗菜（2年）

Q：ふるさとで安心して子育てができるよう、小児科医療を充実させてほしい。

A：島原病院や開業医の協力をいただきながら充実に努めていきたい。



○島原農業高校 「島原市の農業後継者育成の取り組みについて」

永友 泉美（2年） 五島 雄貴（1年） 佐原 龍一朗（1年） 松本 清花（2年）

Q：就農を希望する若者を他県に逃さないよう、魅力ある後継者育成の取り組みは。

A：多くの農業者の所得が1,000万円以上となるよう支援していきたい。「格好良く、感動があつて、稼げる3K産業」を目標に取り組んでいる。

Q：若い農業者への各種資格の取得費用助成や海外農家研修などの取り組みは。

A：国際農業者交流協会が実施する海外農業研修、県立農業大学校でのオーストラリアへのホームステイ研修や農業法人等への研修費用の助成制度がある。

○島原工業高校 「観光の活性化について」

小林 正人（2年） 松本 誠（2年） 溝口 廉之介（2年） 田中 武冨士（1年）

Q：島原城などで江戸時代にタイムスリップしたような宿泊体験はできないか。

A：宿泊施設とするにはいろいろな要件があるが、積極的に検討したい。

Q：「しまばらん」を「妖怪ウォッチ」に出演させることができれば知名度がアップし、全国の方が島原に興味を持ってもらえるのでは。

A：実現できるように積極的にPRしていきたい。